



松尾会長国際交流センター訪問

交流センター及び留守家族会の合同歓迎会にて

留学生たちの生活している 学生寮を訪ねて



松尾会長の訪福を待ちわびていた留学生達は

2006 年度留学生と共に

男たちは会長の100周年祭典委員長就任を祝す



事務所より

前回の会報で2006年度会費納入者の公示を行ないましたが、その中で手落ちがありましたのでお詫び致しますと共に、其の後の納入者分も含めまして 以下に記しますのでご確認ください。

原因はともあれ、前回の記載漏れ、申し訳ありませんでした。又、会費納入いただきました会員の皆様方ご協力ありがとうございました。

追加と記載漏れの分 (2005年7月1日から2006年10月31日迄に支払った人)

支 部 名	人数	会 員 名 (敬称略)
ゲアルーリョス (Guarulhos)	1名	Shogoro Ikuno
本 部 (Sede)	7名	Luiza Shizuko Fukui, Marco Matsui, Hirokazu Sasaki, Shiguetoshi Hiratsuka, Haruo Inada, Hiroyuki Doi, Tazuru Arata
アクリマソン (Acimação)	1名	Haruki Saito
スザノ (Suzano)	4名	Ichiro Koyabata, Alice Murakami, Massae Matsui, Hiroshi Sato
オザスコ (Osasco)	1名	Sandro Megumi Kuratomi
イタベチニンガ (Itapetininga)	1名	Katsunori Kosoegawa
リンズ (Lins)	1名	Junnosuke Fujita
ピラールド スール (Pilar do Sul)	5名	Satoshi Iriyama, Mitsuru Minami, Massaharu Matsushita, Masao Jojima, Shiguo Seki
クリチーバ (Curitiba)	1名	Tais Marie Fukushima
カンピーナス (Campinas)	1名	Sadatsugu Yamaguchi
マリリア (Marília)	1名	Elis Naomi Hirata
ソロカバ (Sorocaba)	1名	Andre Takeshi Yoshimoto
サン ミゲール アルカンジョ (São Miguel Arcanjo)	4名	Toshiyuki Tokuhisa, Tetsuya Sadasue, Elio Mori, Tadahiro Kumamoto

麻生県知事杯争奪戦ゲートボール大会開催！！

2006年度の福岡県知事杯争奪戦は9月16日カンピーナス支部の井出支部長始め、支部会員の協力のもと県人会各支部より総数11チームの参加を得て、山口さんのコートを借りて行われた。成績は強豪スザノチームをわずかな差で抑えた、地元カンピーナス支部が総合優勝し、栄えの麻生知事杯を手にした。

実行委員の国武理事、井手支部長、山口定次さんの世話様でした。書面を借りてお礼申し上げます。

国武大会実行委員長の挨拶



本大会 参加6支部11チーム勢ぞろい



高齢者の部 優勝チーム カンピーナスチームの皆さん



一般の部 優勝チーム スザノ支部の皆さん



総合優勝 カンピーナス支部 と 本部役員



インディア支部とサントアンドレ支部の試合風景



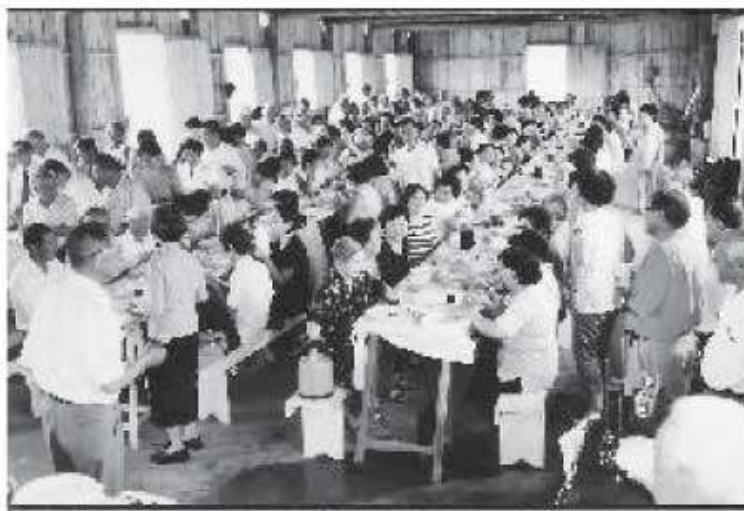
恒例 福岡県人会支部交流親睦会！！

去る11月19日、パウルー支部の田中 東支部長と全支部会員の協力によって今年も盛大に行なわれた。又、今年も、サンパウロ近郊7支部からの参加とマリリア、ガルサ、ドアルチーナ市在住県人会会員の参加で会場は一垂の席も無いほどだった。

主催者パウルー支部を代表して
田中 東支部長の挨拶



福岡弁丸出しでにぎわう会場



マリリア支部 満生支部長と滝内さん



サント andre支部 鹿毛さん夫妻ほか
サンパウロよりバス1台 総勢40名以上の参加



2006年度 会員家族慰安旅行！！

去る11月17日に行なわれた、サンジョゼ ド リオ プレトへの慰安旅行

江藤さん夫婦も仲良く パチリ



温泉で疲れも癒えて さあー パウルーへ出発



感動の喜び

私達夫婦は人生の中で、二十代、三十代は無我夢中で働いた時代で、四十代にて少し物事を考えて行動し始めたような気がします。それまでは 結婚、子育て、家の建設、何一つ横を見ることの余裕のない時代であり、周りを見る時間さえ惜まれる気がしました。

だが七十代の現在は、私達は色々の物を見たり聞いたりし、仕事中心だった人生から、余生を楽しむ事への比重が増え、沢山の蓄えもあるわけではないのですが、日々の生活にも余裕さえ感じられるようになりました。

その中で感動の喜び、又感激の涙、幸せに浸れるものが身近にたくさんあります。第一に、私たち農業者は自然の中で働き、その中で作物が良く出来た時の喜びは口では言い表す事の出来ない喜びでもあります。

時には、家内達が唄うコーラスの中でも、サトウキビ畑の三部合唱はのどかで、何とも言えない素晴らしさを感じます。又 夕飯が終わり、テレビを見て二人で感激の上の涙をぼろぼろと流がず、ある時は、花の色を見てその鮮やかさに対する感動の喜びが、その外 車で家を離れれば、私たちの孫を迎えに行く途中の西の空が夕焼け、又、雲の中より太陽が真赤に沈んで行く、その自然の美は私達では表現出来ない雄大さが心揺さぶります。二人は肯きながら車を走らせます。

自然はあの二十代の草木と同じはずなのに、人間の心一つでこうも世界が変わるのだろうか

二〇〇六年十一月十一日

鶴賀博文

A ALEGRIA DE VIVER

Eu e a minha esposa passamos a maior parte de nossas vidas, com dedicação total e exclusiva ao trabalho. Foi o período dos vinte e trinta anos. Até chegar aos quarenta anos, quando enfim pudemos pensar um pouco em nós mesmos, foram anos de muitas dificuldades, pois para criar os nossos filhos e construir a nossa casa, tivemos que trabalhar muito, sem tempo nem para um pequeno descanso.

Atualmente, aos setenta anos, a nossa vida mudou, e o enfoque que era apenas o trabalho, deu lugar a momentos de descontração, em que procuramos ver e ouvir as coisas belas da vida. Sinto que estas oportunidades têm aumentado cada vez mais, e o nosso cotidiano também tem sido mais tranquilo.

Devido a esse estado de espírito, estamos mais abertos para sentir emoção aos acontecimentos que nos rodeiam, derramar algumas lágrimas em momentos que nos tocam. Nós vivemos num meio rural, pois somos produtores agrícolas, e é indescritível a alegria que sentimos quando colhemos os frutos do nosso trabalho, que é uma dádiva da natureza. Ou então, a beleza extraordinária do instante em que as vozes do coral do qual faz parte a minha esposa se propagam pelos canaviais, é algo que me deixa muito emocionado! Outras vezes, as lágrimas rolam por nossos rostos diante de cenas que assistimos na TV, ou então, a emoção sentida ao ver uma flor que desabrocha. Um outro espetáculo natural que me emociona é ver o entardecer, o sol vermelho que se põe de dentro das nuvens, e que nos acompanha quando vamos de carro buscar os nossos netos. A natureza tem uma beleza tão extraordinária que não pode ser descrita com meras palavras.

Como é estranho! O campo verdejante dos meus vinte anos é o mesmo de agora, mas uma pequena mudança no nosso estado de espírito, basta para enxergar o mundo com outros olhos!

11/11/2006

Hirofumi Tsuruga

2006年度 婦人部の活動

婦人部創立 30 周年祝賀会



ウバタン温泉への慰安旅行



2006年度 青年部の活動

サント アウグスチニョ教会で太鼓演奏



シダーデ アデマール文化協会での演奏



6月祭りのピクニック



日本フェスティバルのスタンドは元気一杯



運動会開催後の慰労会



日本フェスティバル 協力ご苦労さん



2006年度県費留学生の壮行会にて



第8回福岡県人会カラオケ大会 及び 第四回九州ブロックカラオケ大会



浅原 セリーフ

編集責任 丸林 茂樹

最後に、良いお年をお迎えられますよう新念いたします。
 会員の皆様のご協力、ご寄稿をお待ちしております。

です。

今回の会報 玄海は2006年の最後の発刊となりますので、特集号として今年
 の主な行事の中より、集まった写真を掲載して見ました。いろいろご意見は
 お有りでしょうか 来年は更に充実した会報配布できますよう 努力するつもり
 です。

編集後記

もらっている際の協力者

佐藤氏の後任として世話をして

本部の事務所勤務する浦川 潔氏

県人会本部の事務局長の紹介



社団法人 ブラジル福岡県人会
 Associação Fukuoka do Brasil
 Rua Saturno, 238
 Aclimação São Paulo SP Brasil
 CEP : 01531-030